

キャンパス名	千葉キャンパス				
授業番号	10584003				
授業名	福祉政策と社会保障 C	形態	講義	単位	2
担当教員	八田 和子				
開講学期	2018年度 前学期	曜日・時限	木曜2限		
授業目的	福祉政策と社会保障に関する基礎知識を習得するとともに、諸理論の理解を深める。				
授業内容	公共政策のなかの福祉政策の位置づけや性格の理解を目指す。また、社会保障制度の体系・機能・給付内容に関する基礎知識の習得を目的とする。				
到達目標	福祉政策に関する基礎理論を理解している。 福祉政策の歴史的発展過程を理解している。 社会保障制度の体系、機能、給付内容、財政システムを理解している。				
ディプロマポリシーとの関連性	<DP1-(4)> 人間・文化・社会・国際事情あるいは自然等について幅広い知識と理解を有している。				
授業形態	講義形式を基本としながら、その中にアクティブラーニングの手法を導入する。グループワークやディスカッションなど、学生の主体的参加を重視した授業を実施する。また、ピアラーニングの手法を用いて学生相互の学び合いを図り、学生の能動的学習の力を高める授業も予定している。				
事前・事後学習の所要時間	本科目では、各授業回に2時間の事前学習と2時間の事後学習を必要とする。合計15回の授業で、事前・事後学習は60時間となる。				
テキスト	テキストは用いず、レジュメ・資料にそって授業をおこなう。				
評価方法	試験によって福祉政策と社会保障に関する基礎的な知識の習得に対する評価をおこなうことを基本としつつ、授業参加の状況、レポートを加味して総合的に評価する。				
評価基準	授業参加 20点、レポート30点、試験 50点、100点満点				
試験・レポート等のフィードバック	レポートは、授業内で講評・解説を行う。 試験は、終了後に授業内で解説し、自己採点が行えるようにする。				
注意事項及び履修条件	事前・事後学習は必ず行うこと。				

S : 100～90、A : 89～80、B : 79～70、C : 69～60、D : 60未満

第1回	
事前学習	講義概要を読み、授業内容および到達目標を確認しておく。 坂田周一『社会福祉政策（第3版）』有斐閣アルマの序章を通読する。
授業内容	福祉および社会福祉の狭義・広義の意味を確認した上で、公共政策の中にある福祉政策の位置づけをおこなう。また、日本で用いられている「社会政策」の意味についても整理する。
事後学習	授業をふまえ、坂田周一『社会福祉政策（第3版）』有斐閣アルマの第1章をまとめる。
参考文献	坂田周一『社会福祉政策（第3版）』有斐閣アルマ 仲村優一他『エンサイクロペディア社会福祉学』中央法規出版
第2回	
事前学習	坂田周一『社会福祉政策（第3版）』有斐閣アルマの第4章を通読する。
授業内容	福祉政策の根拠としてあげられる「市場の失敗」について理解する。さらに、「政府の失敗」、福祉の「準市場化」について学習する。
事後学習	福祉の準市場化の現状と背景をまとめる。
参考文献	坂田周一『社会福祉政策（第3版）』有斐閣アルマ
第3回	
事前学習	武川正吾『福祉社会（新版）』有斐閣アルマの第2章を通読する。
授業内容	福祉政策では、市場による財やサービスの分配とは異なる方法で、人々の必要を充足してゆく。その際に用いられる「必要」という概念を「需要」と対比しながら、それが主観的判定とともに客観的判定を伴うことを学ぶ。
事後学習	「必要」と「需要」について具体例をあげながらその違いをまとめる。
参考文献	武川正吾『福祉社会（新版）』有斐閣アルマ
第4回	
事前学習	平岡公一他『社会福祉学』有斐閣第15章第3節、第21章第3節を通読する。
授業内容	必要を充足するための「資源」を分配する諸制度について概観し、普遍主義に基づく分配方法と選別主義に基づく分配方法があることを理解する。さらに両者の異同と歴史的背景、および論拠を学習す

	る。
事後学習	社会保障制度における普遍主義と選別主義について、授業内容を踏まえながら具体例を説明する。
参考文献	平岡公一他『社会福祉学』有斐閣 里見賢治『現代社会保障論（改定新版）』高菅出版
第5回	
事前学習	棕野美智子・田中耕太郎『はじめての社会保障』有斐閣アルマの第8章第1節を通読する。 里見賢治『現代社会保障論（改定新版）』高菅出版の第1章第2節を通読する。
授業内容	各国の社会保障制度の歴史を概観し、福祉国家の成立と展開過程について学習する。また、福祉国家の類型論についても触れる。
事後学習	各国の社会保障制度の歴史を概観し、異同をまとめる。
参考文献	金子光一『社会福祉のあゆみ』有斐閣アルマ 棕野美智子・田中耕太郎『はじめての社会保障』有斐閣アルマ 里見賢治『現代社会保障論（改定新版）』高菅出版
第6回	
事前学習	棕野美智子・田中耕太郎『はじめての社会保障』有斐閣アルマ第8章の該当箇所を通読する。
授業内容	日本の社会保障制度の成立・展開過程および福祉政策の変遷を概観する。前回授業とも合わせ、福祉政策および社会保障制度が歴史の所産であることを理解する。
事後学習	日本の社会保障制度の展開過程を、前回授業で取り上げた諸外国のそれとを比較しながらまとめる。
参考文献	金子光一『社会福祉のあゆみ』有斐閣アルマ 棕野美智子・田中耕太郎『はじめての社会保障』有斐閣アルマ
第7回	
事前学習	平岡公一他『社会福祉学』有斐閣の第16章を通読し、社会保障各制度の概要を把握しておく。
授業内容	社会保障制度の体系について学び、各制度（社会保険、社会手当、公的扶助、社会福祉サービス）の機能や保障方法、財政システム等の違いを理解する。
事後学習	社会保障各制度（社会保険、社会手当、公的扶助、社会福祉サービス）の異同についてまとめた一覧表を作成する。
参考文献	平岡公一他『社会福祉学』有斐閣 棕野美智子・田中耕太郎『はじめての社会保障』有斐閣アルマ
第8回	
事前学習	「年金の将来が不安なので、貯蓄だけでやっていく」という考え方に対する自分の意見をまとめる。
授業内容	老後の備え方（公的年金と貯蓄）に関する意見を発表してもらった上で、社会保障における所得保障制度の役割を考える。また、国民年金と厚生年金を中心に公的年金制度の概要を学ぶ。
事後学習	年金保険における負担と給付の関係、保険給付の内容について復習する。
参考文献	棕野美智子・田中耕太郎『はじめての社会保障』有斐閣アルマ 里見賢治『新年金宣言』山吹書店
第9回	
事前学習	健康保険と国民健康保険の概要を調べる。
授業内容	医療保障制度について概観し、公的医療保険の現状と課題を学ぶ。
事後学習	医療保険における自己負担、給付内容についてまとめる。
参考文献	棕野美智子・田中耕太郎『はじめての社会保障』有斐閣アルマ
第10回	
事前学習	介護保険制度の概要について調べる。
授業内容	日本における介護問題と介護保障政策の変遷を取り上げ、介護サービス提供システムがどのように変化したのかを学ぶ。
事後学習	日本の介護保障システムの課題について考えをまとめる。
参考文献	坂田周一『社会福祉政策（第3版）』有斐閣アルマ 里見賢治『現代社会保障論（改訂新版）』高菅出版
第11回	
事前学習	生活保護制度について調べる。
授業内容	現代の日本社会が抱える貧困問題を取り上げ、生活保護制度の概要および社会保障制度のナショナルミニマム保障機能について学習する。
事後学習	自分の世帯の最低生活費を算出してみる。
参考文献	稲葉剛『生活保護から考える』岩波新書

阿部彩『弱者の居場所がない社会』講談社現代新書	
第12回	
事前学習	平岡公一他『社会福祉学』有斐閣の第22章を通読する。
授業内容	福祉サービスにおける多様な供給主体の現状・役割を理解し、福祉多元主義について学ぶ。またサービス利用方式についても学習する。
事後学習	非営利組織についてまとめる。
参考文献	平岡公一他『社会福祉学』有斐閣
第13回	
事前学習	国立社会保障・人口問題研究所のサイトにアクセスし、社会保障に関する統計データから分かることをまとめる。
授業内容	日本の社会保障給付費の内容と動向を国際比較の中で理解する。また、さらに社会保障の財源調達システムに関する争点について学習する。
事後学習	「社会保険方式」と「公費負担方式」に関する論点をまとめる。
参考文献	国立社会保障・人口問題研究所「社会保障費用統計」 http://www.ipss.go.jp/site-ad/index_japanese/security.html 里見賢治『新年金宣言』山吹書店
第14回	
事前学習	参考文献を読む。
授業内容	外部講師（垣見一雅氏） 国際福祉について学ぶ。先進国だけでなく途上国にも目を向け、日本の国際支援の実際（貧困問題の解決、教育支援、地域開発等）について考える。外部講師は、90分の授業の一部分のみを担当する。
事後学習	日本社会への示唆や市民レベルでの国際協力についてまとめる。
参考文献	垣見一雅『OKバジー村人に魅せられ、ネパールの山奥に住みついたひとりの日本人』サンパティック・カフェ
第15回	
事前学習	参考文献、レジュメ、資料を復習する。
授業内容	授業のまとめおこなう。社会保障に関する基礎的な知識および諸課題の理解に関する学習目標の達成度をはかる。
事後学習	授業まとめで使用した資料等を復習する。
参考文献	授業で提示する。
※この他に試験が実施される場合があります。担当教員の指示に従ってください。	
ディプロマポリシー	<DP-1> 【社会の構成員としての基本的知識・技能・態度】 社会生活で必要となる汎用的技能及び社会の一員として求められる態度や志向性を身に付けているとともに、人類の文化、社会と自然に関する知識について理解している。 <DP1-（1）> 日本語及び外国語によるコミュニケーション能力を身に付けている。 <DP1-（2）> 情報通信機器の活用に関する知識・技能を持ち、利用における法令順守の態度を身に付けている。 <DP1-（3）> 問題を発見し、課題を解決する能力を持ち、立案・実行過程で主体性を持って協働できる態度を身に付けている。 <DP1-（4）> 人間・文化・社会・国際事情あるいは自然等について幅広い知識と理解を有している。